



足寄町立足寄小学校 学校便り (第 243号)

令和6年11月29日(金)

大地



足寄町立足寄小学校
電話 25-2114
FAX 25-4904
発行者: 大宮 秀夫
編集者: 橋本 健

足寄小学校「あ・い・う・え・お」あいさつ 一生けん命 美しい学校 えがお 思いやり

文章を読むとき・・・どっち？

校長 大宮 秀夫

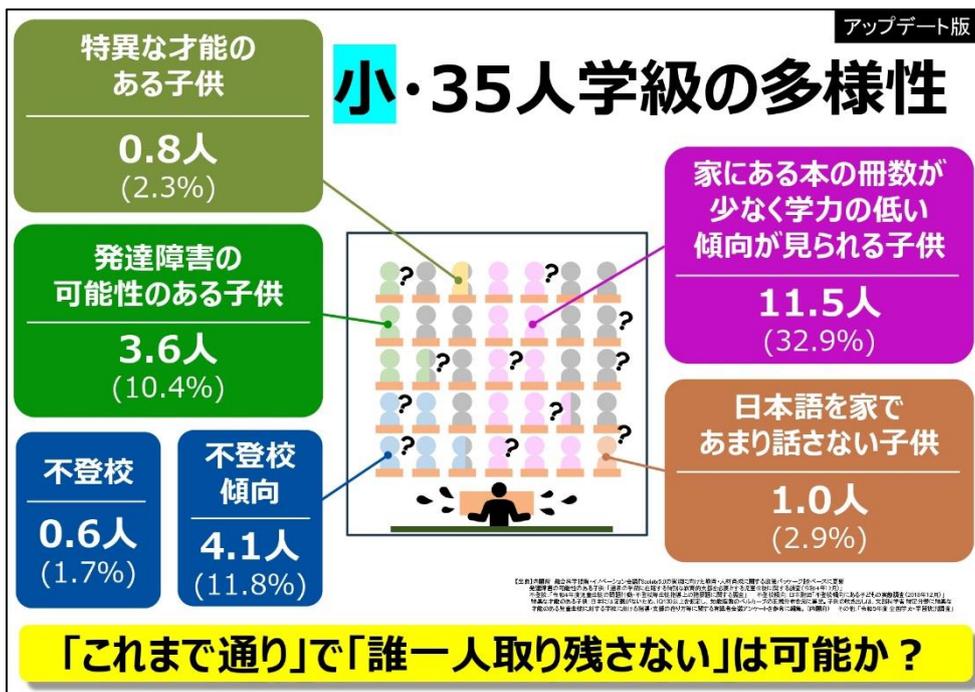
- ①心の中で音読する ②音声化せずに目で理解する

私は①です。皆さんはどちらですか？①の人は、文字を目で追いながら頭の中で「声」にして、音声化により内容を理解します。そのため、言葉を話すスピードよりも速く読むことはできません。一方②の人は、音声化せず、文字をかたまりで見て瞬時に意味を理解するため読むスピードが速い傾向にあります。一般に、①のタイプは、「聴覚優位」、②のタイプは「視覚優位」の傾向があるそうです。得意、不得意や考え方のくせなどの特性は、人それぞれで、良いとか悪いとかではないことは言うまでもありません。



子どもたちの特性も様々です。「話すこと・聞くこと・書くこと・読むことが得意な子ども」「興味や関心が拡散しやすい子ども」「音やダンスで表現することが得意な子ども」「特定の分野に極めて高い集中力を示す子ども」「文字情報の扱いが苦手な子ども」・・・それらは、視覚優位、言語優位、聴覚優位、体感覚優位、など様々な認知特性に由来します。

左の図は、全国の平均を小学校35人学級に当てはめたときの多様性について示した図です。それぞれの地域特性などもあるので、違いはあるかもしれませんが、これらの多様性に対応しなければならないのは確かなようです。上述の認知特性と合わせて考えても、子ども一人一人を大切に、指導方法を工夫しながら、「誰一人取り残さない教育」を進めていかななくてはならないと感じ



じます。多様性に対応する「多様な学び」の強い武器になる可能性があるのがタブレット端末などのICTの活用かもしれません。変化の激しい時代、私たちの挑戦は続きます。

足寄町文化賞・スポーツ賞等表彰式

町内在住で各分野において活躍された皆さんを表彰する「足寄町文化賞・スポーツ賞等表彰式」が、11月3日(日)に行われました。本校で受賞した児童(団体)を紹介します。

《ジュニア文化奨励賞》団体

足寄ジュニアプラスバンド

・第69回北海道吹奏楽コンクール帯広地区大会
小学生の部 金賞

《ジュニアスポーツ奨励賞》個人

6学年児童

・JFA U-12 ガールズゲーム2024 北海道
第12回熊谷・高瀬杯サッカー大会 準優勝



主な行事

- 2日(月) 挨拶いっぱい運動・交通安全の日
- 4日(水) 職員会議
- 5日(木) 参観日(1・2・3年)
3年親子レク
- 6日(金) 参観日(4・5・6年)
5年親子レク
- 12日(木) 標準学力調査
- 13日(金) 標準学力調査
- 18日(水) 移動図書
町P連研究大会(町民ホール)
- 24日(火) 2学期終業式
- 25日~27日 チャレンジクラブ
(町民ホールにて)
- ※冬休み 25日(水)~1月13日(月)

お兄さん・お姉さんになりました

11月21日(木)に、認定こども園どんぐりのらいおん組さんたちが足寄小学校に来てくれました。

来年4月に入学してくる年長児のみんなはとても元気よく、先生の指示を良く守って行動するお利口さんたちでした。そんならいおん組さんたちに喜んでもらおうと、1年生のみんなは、周到に準備を重ね、つり、ボウリング、的入れなどお祭りのようなゲームコーナーを作り、たくさん遊んでもらいました。らいおん組のみんなはすごく喜び、いろいろなゲームを楽しむ姿が見られました。上手にゲームコーナーを仕切っていた1年生のお兄さん・お姉さんっぴりに、こども園の先生方もおどろいていました。



スマホ・ネット安全教室

ネットやSNSの情報が新聞・テレビなどのメディアを凌駕する昨今、子どもたちの日常もスマホ・ネットに占められる割合がどんどん大きくなってきています。

スマホやネットはとても便利なものですが、使い方を誤ると人間関係のトラブルを引き起こしたりもします。そのため、学校では日頃からネットリテラシーについて指導をするとともに、今回(11月15日)、中学年と高学年を対象に、NTTドコモの方たちにご来校いただき、ネットの特性や危険性について、分かりやすく教えていただきました。また、防災無線車両も持ってきていただき、いざというときの通信インフラを守ってくれていることを学びました。

